

# なかむらはちまんぐう 中村八幡宮

真岡市中556

中村八幡宮は白鳳<sup>はくほう</sup>4年（676年）に天武<sup>てんむ</sup>天

皇の命令で人々が安心してくらせることを願<sup>ねが</sup>って、日本全国に建てられた神社の一つとされています。

文治5年（1189年）に源頼朝<sup>みなもとのよりとも</sup>は藤原

泰衡<sup>やすひら</sup>を征伐<sup>せいばつ</sup>するために奥州<sup>おうしゅう</sup>（現在の東北地方）



（撮影 上野訓宏）

に向かいました。当時の中村地区の領主<sup>りょうしゅ</sup>であった、中村宗村<sup>なかむらむねむら</sup>は源頼朝といっしょに奥州に

戦いに行き、大きな戦功<sup>せんこう</sup>を挙げる活躍<sup>かつやく</sup>をしました。その後、奥州伊達郡<sup>だてぐん</sup>の地頭<sup>じとう</sup>（土地の管理

を行う）に任命<sup>にんめい</sup>されて、そこに住むようになりました。それ以来、伊達氏<sup>だて</sup>を名乗<sup>な</sup>るようになり

ました。有名な伊達政宗<sup>だてまさむね</sup>の先祖<sup>せんぞ</sup>です。

伊達家<sup>だてけ</sup>は江戸時代になっても、中村八幡宮に様々な宝物<sup>さまさま</sup>を奉納<sup>ほうもつ</sup>しました。現在も、宝物と

して大切に保存<sup>ほぞん</sup>されています。9月に行われる例大祭<sup>れいだいさい</sup>での流鏝馬<sup>やぶさめ</sup>も、江戸時代（1736年）

に伊達吉村<sup>よしむら</sup>が中村八幡宮を参拜<sup>さんぱい</sup>し、神馬<sup>じんば</sup>を奉納したことがきっかけで始まりました。



ほんでん  
本殿

室町時代（1451年）に伊達持宗<sup>だてもちむね</sup>によって建てられた建物です。その後、江戸時代や昭

和に屋根の改修<sup>かいしゅう</sup>が行われています。

（撮影 上野訓宏）



(撮影 上野訓宏)

中村八幡宮<sup>しよゆう</sup>所有する<sup>たち</sup>太刀です。この太刀は、江戸時代に伊達綱村<sup>だてつなむら</sup>が奉納したものです。これ以外にも奉納された太刀があります。